

台湾からの100例の確定患者とその濃厚接触者2761人に関する報告によると、濃厚接触者のうち22人が発症した(1)。発症したのは、発症前または発症から5日以内の確定患者と接触した人だけであり、発症から6日以降に確定患者と接触した人のうち発症者はいなかった(図1)。また、入院患者の気道検体を用いた研究では、ウイルス培養が陽性となったのは発症後8日までであり、発症9日後以降の検体は全てウイルス培養陰性であった(2)。ウイルス培養が陽性となる期間は感染性のある期間と考えられるため、発症9日目以降は感染性がなくなる可能性がある。厚生労働省の退院基準が発症14日目以降から発症10日目以降へと、入院期間が短縮されてきたことは、これらの知見が根拠となっている。

1. He X, Lau EHY, Wu P, Deng X, Wang J, Hao X, et al. Temporal dynamics in viral shedding and transmissibility of COVID-19. *Nat Med.* 2020;26(5):672-5.
2. Wölfel R, Corman VM, Guggemos W, Seilmaier M, Zange S, Müller MA, et al. Virological assessment of hospitalized patients with COVID-2019. *Nature.* 2020;581(7809):465-9.

図1. 発症から濃厚曝露までの日数

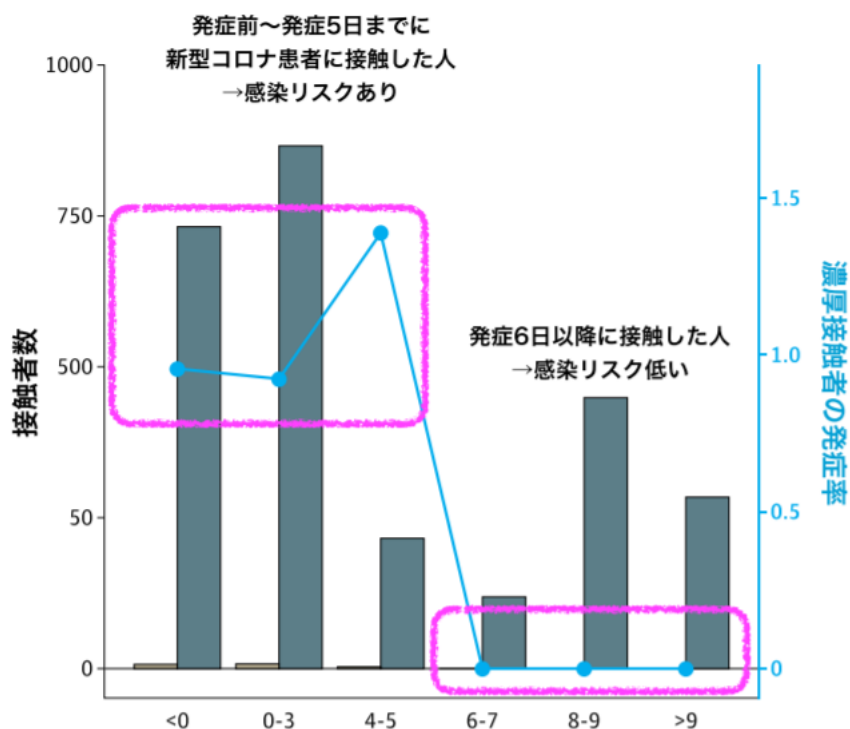


図2. 発症日数とウイルス培養検査結果

